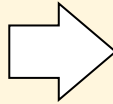


2019年11月
19(火)-20(水)

設計・開発部門のための ヒューマンエラー防止セミナー

- ✓ ヒューマンエラーはなぜ起こるのか！
- ✓ ヒューマンエラーはどう防ぐのか！
- ✓ 設計・開発業務でどう体现するか！



本コースは、この**永遠の課題**を
解決するヒントをご提供します！

ー 設計・開発部門のヒューマンエラーを撲滅しよう！ ー

人為ミスによる製品事故やリコール騒ぎが相次いでいます。正しく設計したつもりでも、それを扱う作業
者やユーザーの行動が間違っていたら元も子もありません。人間はどのように間違えるものであり、ミス
を防ぐにはどのような手法があるかを、**講義**と**演習**を通じて身につけることができます。

カリキュラム 2日間コース

時間	内容
1日目 9:20~17:00	講義：ヒューマンエラー防止の理論 講義：ヒューマンエラー・ヒューマンファクター 講義：事例に学ぶ 演習：設計・開発部門のヒューマンエラー防止 のための業務改善
2日目 9:30~17:00	講義：グレイゾーンでのエラー防止 講義：製造・保全でのエラー防止を目指した設計 演習：ヒューマンエラー防止のための設計・開発 部門における具体的対策

特徴

- ヒューマンエラーだけの対処を論じるのではなく、問題を総合的に解決する方法論に重点を置きます。
- 問題の発見方法やとらえ方、改善策の立案、自身の業務へのインプットや前後工程への勧告・処置、普及までを包括して講義します。
- 演習を通じて学習することにより、より確実にヒューマンエラー防止スキルやノウハウを習得できます。
- 対 象：設計・開発部門の管理者、技術者、スタッフの方々、設計・開発部門のヒューマンエラーを撲滅させたい方
- 会 場：東京・日科技連ビル（東高円寺）
- 参加費（税抜）：49,000円（一般）／ 42,000円（賛助会員）

※都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。

講師(敬称略) 垣本 由紀子



日本ヒューマンファクター研究所 顧問（安全人間工学担当）

早稲田大学第一文学部心理学専修卒業後、心理職技官として防衛庁航空医学実験隊に定年まで勤務。この間、昭和
大学医学部衛生学教室に特別研究生として3年間在籍。医学博士号授与される(1985年12月)。防衛庁退官後、鹿児島
県立短期大学教授、(1997.4-2000.3)、実践女子大学生活環境学科教授(2000.4-2007.3)を経て2007年5月から日本
ヒューマンファクター研究所に勤務し、今日に至る。主たる社会的貢献は、2001年2月-2007年2月の間、航空・鉄道
事故調査委員会委員(現運輸安全委員会)(国交省)、空港制限区域内事故防止委員会委員(2008年4月から現在)(国
交省)、安全専門委員会委員(2008年4月から現在)(人事院)等。
主な著書には『品質とヒューマンファクター』(日科技連出版社)などがある。

田中 健次



電気通信大学大学院 教授 情報理工学研究科情報学専攻

京都大学理学部卒業。東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程修了。理学博士。
日本品質管理学会監事。経産省消費経済審議会製品安全部会事故判定第三者委員会委員
(2007年から現在)。日本医療機能評価機構教育プログラム部会委員(2013年から現在)。
主な著書には『システムの信頼性と安全性』(2015年日経品質管理文庫賞受賞：朝倉書店)、
『入門信頼性』(日科技連出版)などがある。

大石 修二 電気通信大学産学連携研究員/株インテグレイト 代表取締役



東京工業大学卒、元三菱重工株式会社。
三菱在職中は、原子力プラントのシステムや機器の研究開発、設計、試運転などの業務に携わってきた。三菱退職後、平成28年度まで埼
玉工業大学の講師として、システム工学、ヒューマンインターフェイス、工学倫理学などを講義すると共に、電気通信大学で産学連携研究
員を兼務し、トラブル防止の研究に携わってきた。現在は、日本原子力学会および日本品質管理学会に所属し、株式会社インテグレイト代
表取締役として機械設備の設計コンサルタントを行うと共に、電気通信大学で産学連携研究員として従事している。
また、日本科学技術連盟主催のセミナーでは、
1) 「品質トラブルの未然防止セミナー」において「実際例によるエラー防止のノウハウ(ステップ別)」と
2) 「品質管理ベーシックコース」において「トラブル予測と未然防止」を講義すると共に、
3) 「設計・開発部門のためのヒューマンエラー防止セミナー」において「演習」を担当している。



◆ホームページに「受講レポート」を掲載しています◆
<http://www.juse.or.jp/reliability/>

参加者の声をご紹介します！

- ・ヒューマンエラー発生後の対策だけでなく、未然に防ぐヒントが得られました。
- ・ヒューマンエラーに対する組織的、システムの、意識的問題点を学ぶことができました。
- ・各種事例の紹介があり、開発時にとっても有用であると思いました。
- ・事例 → 解析 → 対策手法 と論理立てて説明していただき、有益でした。
- ・グループディスカッションによる演習で、異業種・他社の方と交流により、どのような対策案を考えているかを知ることができよかったです。
- ・ディスカッションの時間が豊富で、考える時間が多くあるのがよかったです。

セミナー受講レポート

- ▶ 製品開発における信頼性の向上と造り込みセミナー
- ▶ 信頼性セミナー基礎コース
- ▶ 信頼性技法実践講座「FMEA・FTA」
- ▶ 信頼性技法実践講座「信頼性試験」
- ▶ 信頼性技法実践講座「故障解析」
- ▶ 設計・開発部門のためのヒューマンエラー防止セミナー
- ▶ 設計・開発における未然防止手法セミナー

受講レポートはこちら → 「日科技連HP」 → 「信頼性・保全本性・安全性・R-Map」 → 「セミナー受講レポート」

■ お申込み方法 ■

- ◆日科技連ホームページから申し込む：<https://www.juse.or.jp/src/seminar/> にアクセスし手続きください。
 (「信頼性・保全本性・安全性・R-Map」 → 「信頼性・保全本性・安全性・R-Mapに関するセミナーはこちら」 から該当セミナーを選択)
- ◆下記「参加申込書」を利用し申し込む：必要事項をご記入のうえ、ファクシミリもしくはメールでご送付ください。

一般財団法人日本科学技術連盟 セミナー受付 E-mail : regist@juse.or.jp
 〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1 TEL : 03-5990-5849 / FAX : 03-3344-3022

◎キャンセルの取扱いとお願い◎

お申し込みをいただいた後、止むを得ない事由により参加者の都合が悪くなった場合には、できるだけ代理の方のご参加をお願いします。参加をキャンセルする場合には、セミナー受付に e-mail または FAX にて事前にご連絡をお願いします。なお、その際、ご連絡の日にちにより次のキャンセル料をご負担いただきます。

【キャンセル料】開催日の7営業日から2営業日前のキャンセル——参加費の20% / 開催日の1営業日前の17:00までのキャンセル——参加費の50%
 開催日の1営業日前の17:00以降のキャンセルまたは事前のご連絡がなかった場合 ——参加費の100%

■ 内容についてのお問い合わせ先 ■

一般財団法人日本科学技術連盟 信頼性セミナー担当
 TEL : 03-5378-9850 / FAX : 03-5378-9842 / E-mail : re-group@juse.or.jp

参加申込書

FAX : 03-3344-3022

コース名	開講日
設計・開発部門のためのヒューマンエラー防止セミナー	2019年11月19日

● 参加者

記入不要	ふりがな 参加者名	所属事業所・部課・役職	E-mail

● 連絡担当者 (お申込受付後「開催通知」をお送りする方)

賛助会員 番号				
会社名	事業所	TEL		
所属・役職	担当者	FAX		
所在地	〒	E-mail		

※お支払いにつきましては、請求書発行後2ヵ月以内にお支払いください。

※※ご記入いただいた個人情報は、参加申込受付処理、セミナー運営ならびに日科技連からのセミナー情報送付のために使用いたします。その際、宛名データを外部に委託する場合がありますのであらかじめご了承ください。ただし、ご要請があればご案内を速やかに中止いたします。また、当該個人情報には日科技連「個人情報保護方針」に基づいて管理いたします。

※開催日程、会場、カリキュラム内容などは、都合により予告なく変更する場合がございます。また、万一最低開催人数に満たない場合にはセミナーを中止または延期する場合がございます。最新情報は日科技連ホームページでご確認ください。